

2-18 人にわかりやすく話すには？

講座などで星の話をするようになったら？ 焦らず、楽しく星や宇宙のことを紹介し、ともに楽しい時間を過ごしていくには、どのような点に気をつければよいのでしょうか。プラネタリウム解説者が気をつけていることなども参考になります。いくつかポイントを挙げてみました。

ポイント1 伝えたい内容を絞る

伝えたいことは何か、話したい内容は要するに何か、内容を吟味し精選することが伝えるコツと言えるでしょう。

時間による制約を考えながら、旬の話題であったり、その時見られる星空、あるいは自分の得意とする天文ネタなど、さまざまな中から、中心となる内容を決めておきましょう。

ポイント2 対象に合わせた内容に

子どもが多いか、家族で参加するか、どのような参加者の顔ぶれとなるかは、内容を決めていく大切な要素です。

ポイント3 話には具体例を交えて

反対の例と比較することにより、伝えたい内容が強調されることがあります。予想される予備知識を探りながら、あるいは質問などを参加者に問いかけながら進行していくことも有効です。

特に、身近にあるものを例えに使うとわかりやすく説明できます。例えば、分光であれば虹の七色を出すなど、視覚的な理解も大切です。

また、数字はそのままの値を言うだけでなく、〇〇を△△の大きさに縮めると・・・といった、身近なものの大きさに置き換えるとわかりやすくなります。



ポイント4 話し方にもメリハリを

きちんと伝えたい言葉は、強調しながらはっきりと話すことにより、大切な部分が参加者に伝わりやすくなります。また、プレゼンテーションのファイル（スライド）にできるだけ画像や図を入れて文字の割合を減らすとわかりやすくなります。

時にはクイズ形式など、質問をなげかけ、ちょっと考えてもらう時間を作ると、興味も持続し、理解も深まります。

ポイント5 単調だと飽きやすい

明るめの場所では、身振り手振りや顔の表情などにも変化をつけると、視線が講師に向く機会が増え、参加者の集中力も持続しやすくなります。

ポイント6 声量・スピード・間の取り方も

つつい焦ったり緊張したりしますが、逆にゆっくり過ぎるくらいが、参加者にとっては聞きやすい場合があります。単調にならない程度に、よいテンポで進めていきます。

何より、興味をもって話を聞こうとしてもらえる雰囲気作りが大切です。スマイルで、わかりやすい大きさの声なども重要です。